

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議で書面開催において、書面にて意見や提案を募り、それらの意見をまとめた後、出席者等に結果を報告出来ていない。	募った意見や提案をまとめ、その意見等を踏まえてどうしていくかミーティング等で検討し、家族や出席者に結果を報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運営推進会議で書面開催の確認書類に意見や提案の項目を追加。 ○ 後日、結果をまとめ、出席者にレターを送る。 	1ヶ月
2	6	アンケートをとっているが、集計結果を家族にフィードバック出来ていない。	アンケートの集計結果を家族にフィードバックする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月の請求書と一緒に返信用封筒、アンケートを同封し、その結果をまとめた書類を次回の請求書と一緒に送る。 ○ 時期を決めて、毎年アンケートをご家族に送る。 ○ 集計結果をまとめたものをご家族に送って報告する。 	1ヶ月
3	10	ケアプラン作成において、現行一般的なケアプランの内容となっており、できる限りご本人が望んでいることを実現できるようなプランになっていない。	ご本人がどういったことが好きかといった情報を多角的に広く募れるしくみを作り、より具体的なニーズを目標に設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記録は、職員が関り、ご本人がどういった反応をしたかといった記録の書き方に変えていく。 ○ ミーティングにおいて職員の担当入居者の情報を他の職員からも意見を募り、ケアプランに反映させる。 	12ヶ月
4	13	命に関わるような状況（誤嚥、窒息等）の定期的な実技訓練の実施が出来ていない。	職員全員が、命に関わるような状況の実技訓練を体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部研修を受け、その受けた職員を中心に、内部研修を行い、職員全体に情報として共有していく。 ○ 内部研修は、日を分けて職員全員が体験できるようにする。 	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。